

2016年10月12日
株式会社ボーネルンド

神奈川県大和市「文化創造拠点」内 0歳～小学2年生対象「屋内こども広場」をプロデュース 行政と連携したあそび環境づくりが拡大中

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、11月3日、神奈川県大和市に開館予定の「文化創造拠点」内に、0歳から小学2年生までの子どもと保護者を対象とした「屋内こども広場」をプロデュースしました。

指定管理者「やまとみらい」が運営する「文化創造拠点」は、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場が融合した新しい公共施設です。従来の公共施設の枠を超え、子どもからシニアまで幅広い世代の交流を生み出す地域の文化発信地を目指します。

ボーネルンドがプロデュースする「屋内こども広場」には、0歳から2歳が対象の「ちびっこ広場」、3歳から小学2年生が対象で、おままごとや体を動かす遊びが楽しめる「げんきっこ広場」があります。ボーネルンドが全国展開する室内あそび場「キドキド」事業や、保育園・幼稚園・小学校をはじめとする多様な場所でのあそび場開発、子育て支援施設の開発実績に対して評価いただき、今回のプロデュースに至りました。

ボーネルンドのあそび環境作りは施設や地域活性化につながると各自治体から注目を集め、実績は全国へ広がっています。今後も当社は、行政との協業を通して地域のあそび環境創造に取り組んでまいります。

＜施設概要＞所在地:神奈川県大和市大和南1丁目8番1号 YAMATO 文化森 3F/屋内坪数:約150坪(約500平米)



最新遊具も来春導入予定



イマジネーション・プレイグラウンド

戦後の「瓦礫あそび」からの発想で、アメリカで開発され安全性に優れたポリエチレン・フォームを用いたブロック。曲線や棒状など多様な立体的なパーツを組み合わせ、家や家具、道などを作り出すことができます。



エアトラック・ファクトリー

開発されたオランダでは、体操選手の練習用マットとして広まりました。アクロバティックな動きをするチャ・リーディング、武道などでアスリートにも支持されています。反発力を楽しんで走ったり、大きさの異なるマットを組み合わせ橋のように渡ったり、元気に飛び回るあそびが生まれます。

【ご参考】 ボーネルンドと行政の協業事例

ボーネルンドは子どもの健全な成長にあそびを通して貢献するため、あそび環境作りを行っています。近年は自治体との取り組みが増え、2014年の栃木県足利市との「キッズピアあしかが」、2015年には大阪府大阪市との「ボーネルンド プレイヴィル 天王寺公園」、2016年には愛媛県新居浜市に「あかがねキッズパーク」、栃木県小山市に「キッズランドおやま」がオープン。いずれも子どもの高い満足度に加え保護者の支持も集めて、オープン以降入場者数は順調に推移。公民連携によるあそびを核とした子育て支援や地方創生の先進モデルとして、各地の自治体が視察に訪れるなど他エリアの行政からも注目を集めています。

● 「キッズピアあしかが」(栃木県足利市 2014年12月オープン)

足利市が子どもの運動不足や運動能力の低下を懸念し、同市が運営する子育て支援施設に大型の室内あそび場を設置しました。赤ちゃんから小学生までが、それぞれの成長に合わせてダイナミックなあそびを楽しめるようになっています。

異年齢や異世代があそびを通じて出会い、学び、助け合い、次世代とつながる交流の場として活用され、地域の活性化にも役立っており、オープン7ヶ月で10万人が来場し、安心して親子と一緒に遊べる環境として高く支持されています。



● 「ボーネルンド プレイヴィル 天王寺公園」(大阪府大阪市天王寺区 2015年10月オープン)

かつて天王寺公園は機能的には十分整備されておらず、地域の人々が集まる憩いの場とは言いがたい状況が続いていました。このような現状を受け、エリア再開発を掲げる大阪市から事業主として指名を受けた近鉄不動産が、2014年から地域活動・広域観光の拠点を目指して「天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業」を推進しています。その一事業として、同公園エントランスエリア「てんしば」に、あそびの環境創造に関する知見を持つ当社が屋内外のあそび施設「ボーネルンド プレイヴィル 天王寺公園」を開業し、新たな公園のあり方を実現しました。昨年10月のオープン以来、来場者数は順調に伸び、三世代が集うスポットとして注目を集めています。



【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国81カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間273万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約30箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室 担 当：村上 T E L：03-5785-0860 E-mail：y-muarkami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当：五味渕、池田、山口 T E L：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》	
株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518	